

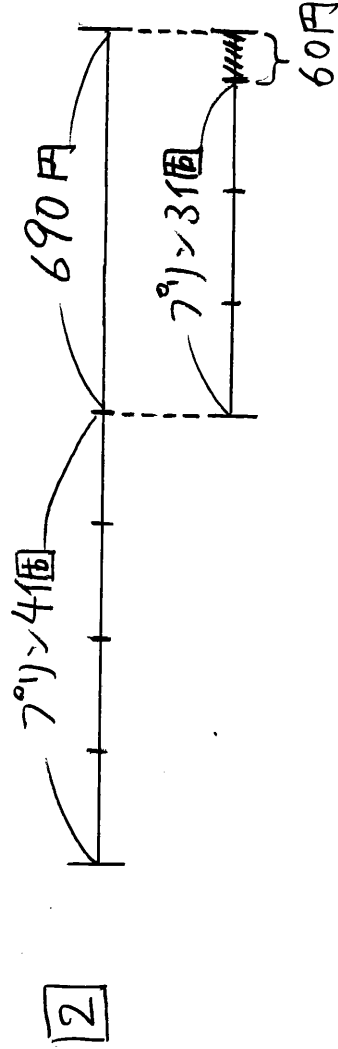
せんせい さんすう 算数チャレンジ問題解説!

5年

1 図の立方体は、とがり合う2面に色がぬられています。とがり合うということは、2面がくっついているということです。組み立てても絶対2面がくっつかない展開図は、色がぬられた2面の間に別の面がはさまっている展開図。

①②③⑤

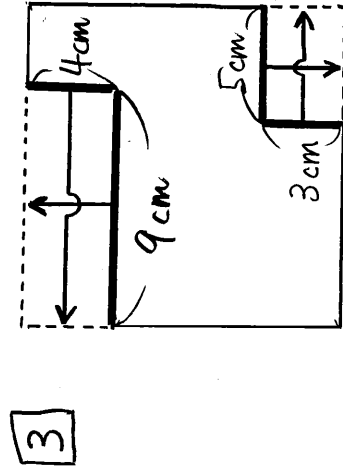
④



$$690 - 60 = 630 \text{ (グリーン3個 630円)}$$

$$630 \div 3 = 210 \text{ (グリーン1個 210円)}$$

$$210 \times 4 + 690 = 840 + 690 = 1530 \quad \underline{\underline{1530円}}$$



図の4cm, 9cm, 3cm, 5cmの直線をそれぞれ竹ひごだと思っ、矢印の方へ移動してみましよう。そのまま長さを変えずに正方形ができます。ということは、正方形のまわりの長さが48cmということです。

93cm<sup>2</sup>

$$48 \div 4 = 12 \text{ (正方形の一边の長さ)} \quad 12 \times 12 = 144 \text{ (面積)}$$

切り取った長方形の面積は、 $4 \times 9 + 3 \times 5 = 51 \quad 144 - 51 = 93$

せんせい さんすう 算数チャレンジ問題解説!

5年

4	太郎	勝 グ 2	あい パ 0	負 グ 0	勝 パ 5	グ 2	ハ 0	グ 7	……
	花子	チ 0	グ 0	チ 3	グ 0	チ 0	パ 0	グ 7	……

(1) 太郎くんは2通り, 花子さんは3通りずつくり返すので, 6回したとき, すべてのパターンが出てしまい, あとは, 同じくり返しになります。

6回の中に太郎くんも花子さんも2回ずつ勝ちます。

6回の中で, 太郎くんは(グ)で勝つので,  $2+5=7$ 点。

7回めは, 太郎くんが(グ)で勝つので  $7+2=9$  9点 //

(2) 6回の中で, 太郎くんは(グ)で勝つので,  $2+5=7$ 点。

花子さんは(チ)で勝つので,  $3+5=8$ 点。

つまり, 6回終わるごとに, 1点ずつ花子さんの方が得点が高くなっていきます。

$50 \div 6 = 8$  あまり 2

6回のくり返しは8度あって, あと2回ジャンケンをするのだから, 花子さんが8点リードのあと, 太郎くんが2点取って, 差を  $(8-2=6)$  6点にします。

花子さんの方が6点高い //